

学科名	電気通信工学科						
科目名	電子回路Ⅱ						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)／必修科目(電気エネルギーコース)／選択必修科目(情報システムコース)						
担当者	喜屋武 毅						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子回路を構成するダイオード、トランジスタなど各種部品の電気的特性の説明ができる。(B3)</li> <li>・演算増幅器の動作と機能を説明できる。(B3)</li> <li>・電子回路とキルヒホッフの法則との繋がりが説明できる。(B3)</li> <li>・演算増幅器を用いた比例回路の計算ができる。(B3)</li> <li>・演算増幅器を用いた微分回路と積分回路の計算ができる。(A7,B3)</li> <li>・演算増幅器を用いた各種フィルタの計算ができる。(A7,B3,C2)</li> </ul>						
日程と内容	<p>09/14 講義の概要説明と評価法、電圧源と電流源</p> <p>09/19 R, L, C回路素子と電子回路</p> <p>09/28 回路素子(ダイオード)の特性と動作原理</p> <p>10/05 回路素子(トランジスタ)の特性と動作原理</p> <p>10/10 演算増幅器による反転・非反転増幅回路Ⅰ</p> <p>10/19 演算増幅器による反転・非反転増幅回路Ⅱ + (演習1)</p> <p>10/26 演算増幅器による差動増幅回路</p> <p>11/02 増幅度と利得・加算・電圧フォロア回路</p> <p>11/09 演算増幅器による積分回路</p> <p>11/16 演算増幅器による微分回路+比例・積分回路</p> <p>11/30 オペアンプによるアクティブフィルタ回路 + (演習2)</p> <p>12/07 オペアンプによるハイパスフィルタ</p> <p>12/14 コンパレータ回路</p> <p>12/21 正帰還作用と発振回路</p> <p>01/18 総合演習 + (演習3)</p> <p>01/27 定期試験</p>						
成績評価基準	定期試験 臨時試験 報告書・レポート 課題 演習	70%	実技 部外評価 プレゼンテーション	計	100%		
授業到達目標の達成度	単位取得学生に関しては、授業到達目標の全てにおいて概ね達成できたと思われる。						
反省点	キルヒホッフの法則や演算増幅器の動作などの根本的なところの理解に苦労している学生が多く、理解度や学習意欲の向上に繋がっていない感があるので、さらに丁寧な説明を心がけたい。						
来年度の計画	授業内容については概ね今年度の計画を踏襲するが、演習する時間を確保しながら学生の理解を定着させる工夫を図る。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業内容の理解を図る項目や興味を引出せているかの項目などで不評であることより、さらに学生の理解や興味を引く内容を取り込み、講義内容の理解度を高めるように努力する。						
履修登録者数	88名	定期試験 受験者数	81名	合格者数	65名	合格率	80%